（別紙３）

公表　児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	ふぁみてぃー			
○保護者評価実施期間	令和８年　1月　21日		～	令和8年　2月　14日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	30名	（回答者数）	19名
○従業者評価実施期間	令和８年　1月　21日		～	令和８年　1月　31日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	13名	（回答者数）	13名
○事業者向け自己評価表作成日	令和８年　2月　20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・職員間で支援についての話や業務改善、分担について会話をする機会を多く設けている。日頃からミーティングを増やす事と出勤時に体調確認を行うことで、些細な変化にも気付きあえる環境であり、困った時に支え合うことが出来る。	・当日に個別支援計画書を再確認し、その日にどのような声かけをしていくか話し合うことで、事業所内で統一された支援が出来るように心がけている。最終ミーティングでその支援がどうだったか話し合うよう心がけている。	・支援や業務の分担について、職員一人ひとりが当事者意識を持って取り組んでいけるよう、管理者は情報の共有を行い、全員で意見を出し検討していく場を用意していく。
2	・５領域に沿ったカリキュラムとあわせて、自立訓練に力を入れ、利用者が生活していく上で障壁となりうる切り替えや日常生活動作について、作業療法士による評価を基に、専門的なアプローチを行っている。	・朝のミーティングを通して、作業療法士が中心となり、利用者一人一人に対して必要な課題と訓練方法について話し合いを行っている。 ・意思決定を大切に、何を取り組みたいかなど、その都度確認し取り組んでいる。	・無理に参加を促すのではなく、一人ひとりにおけるゴールを設定し、本人の気持ちに寄り添い、意思表示を大切にしていく。
3	・土曜日にはクッキングや季節のイベント等利用者や保護者に喜んでいただける取り組みも多く取り入れている。 ・平日には作業療法士が個別的に専門訓練を行っている。 ・日曜日には月に２回程度、言語聴覚士と理学療法士による専門訓練を行っている。	・季節に合ったモチーフを使った制作や、季節の食材を使ったクッキング等、四季に触れる企画を用意している。 ・保護者と支援員に対して、専門訓練の内容のフィードバックを行っている。	・室内での活動以外にも,四季折々の景色を見たり、気候を感じたりする外出イベント等を検討していく。 ・専門訓練の内容のフィードバックを受け、本人の特性に対する理解を深め、日々の支援に活かしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動や、保護者会の開催等による、保護者同士の交流の場や、兄弟向けのイベントの開催等による、兄弟同士の交流の機会が不足している。	・日曜訓練参加者は、保護者同士で関わりがあるが、事業所として交流の機会は感染予防の観点から企画していない。	・家族が参加出来るイベントを検討していく。
2	・避難訓練をしっかり行っているが、保護者へ伝えきれていないことがある。	・保護者へ避難訓練の内容や様子を詳しくお伝えしているが周知にバラつきがある。	・外遊びの際に、指定避難場所までの経路確認を行う等、日常的に改めて取り入れていく。また保護者様にも送迎時にどのような事を行ったのかなど、よりわかりやすく丁寧に行っていく。
3	・地域との交流が少ない。	・様々な感染症の拡大に伴い、地域との交流が行えていない。	・地域の人と関わりが持てるような様々な外出イベントを企画していく。

（別紙４）

公表　保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名	ふぁみてぃー

公表日　令和8年　3月　6日

利用児童数 30名　　回収数 19名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18			1	・用途に応じて区切られており活動しやすいスペースが確保されている。	・見学時に事業所内を見て頂いているが、都度不明点を確認し、改善に努めていく。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16			3	・細やかに対応してくれている。	・見学時に説明を行っているが、より分かりやすく伝わりやすい説明を行っていく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16			3		・今後把握していただく為に、一つ一つ丁寧に説明していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18			1	・掃除のチェックシートを用いて掃除のし忘れが無いように行っている。 ・１時間毎に消毒を徹底している。	・今後も掃除と消毒を徹底し、衛生管理を適切に行っていく。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18			1		・常駐している作業療法士からご家庭で出来る練習方法等をお伝えして広げていく。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	18			1		・送迎の際の申し送りと合わせて、スケジュール表の配布の際にも、カリキュラム内容についてお話していく。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19				・定期的に面談を設定し、事業所と家庭で足並みを揃える機会が用意されている。	・引き続き面談を行い、統一された支援を行っていく。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18			1		・面談や個別支援計画書の説明と際に、項目分けしてお話しているが、より分かりやすい説明の仕方を検討していく。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18			1		・引き続き、適宜面談を行い、意向を確認しながら作成していく。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	1				・当日のカリキュラム担当を職員でランダムに振り分け、固定化しないよう工夫していく。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	9	1		9	・通っている保育園とは地域が異なるためわからない。 ・園までの送迎がありがたい。	・今後交流する機会を検討していく。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19					・引き続き、契約時に丁寧にわかりやすい説明を行っていく。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19					・面談等を通じて個別支援計画書を提示して説明を行い、保護者にも確認していただく。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	1		8	・自宅でも出来る声かけの仕方について、丁寧にお話してくれる。	・今後ご家族も参加出来る場を検討していく。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	19					・送迎時の保護者対応以外にも、電話等の手段を用いて密に連絡をとり、共通理解が持てるように対応していく。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18			1		・定期的な面談を継続していく。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19					・保護者や利用児の気持ちに寄り添い、意思決定を大切にしながら支援を行っていく。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	1	1	12	・利用頻度が低いこともあり把握していない。 ・日曜日の言語訓練の時など他の保護者の方とお話する機会がある。	・今後保護者同士が交流できる企画の開催を検討していく。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18			1		・今後把握していただく為に、一つ一つ丁寧に説明していく。

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19					・引き続き、LINEや電話を用いてこまめに情報共有を行っていく。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	12		1	6	・結果を公表しているかどうかが不明である。 ・活動概要や行事はLINEで連絡が入る。	・自己評価結果は事業所内で閲覧可能としている。 ・ホームページに掲載している。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18			1	・最初の説明で伺いました。	・鍵付きの書庫に厳重に保管している。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13			6	・最初の説明で伺いました。	・見学時や問い合わせがあった時、都度お伝えしている。さらなる周知の方法を検討していく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8			11	・最初の説明で伺いました。	・避難訓練は定期的に行っている。より分かりやすく周知を行う。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	17			2	・最初の説明で伺いました。	・安全点検の実施や訓練や研修を引き続き行い、安全計画の内容の説明を行っていく。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16			3	・最初の説明で伺いました。	・事故が起きた場合、落ち着いて対応できるよう説明の練習も行っていく。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか 。	19					・今後も安心して通所出来るよう、環境設定や取り組みを検討していく。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	19				・おやすみの日には繰り返し事業所の名前を言っている。	・今後も通所がより楽しみになるようなイベントを設定していく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	19					・今後も満足して利用していただけるように、誠実で迅速な対応を心がけていく。

（別紙５）

公表　児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名	ふぁみてぃー

公表日　令和8年　3月　6日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	13	0	・空間を遮る環境ではなく、広く活動がしやすい空間になっている。	・引き続き、見学や体験時に室内を見ていただく機会を設けていく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	13	0	利用人数に対して適切な人員配置を行い、支援をしている。	・継続して適切な人員配置を整え支援を行っていく
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	13	0	・視覚提示を行っている。 ・ホワイトボードを使用し実際の時計と同じ時計の写真を使用しタイムスケジュールを見やすくする等取り組んでいる。	。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	13	0	・毎日の清掃や、時間毎の室内消毒や換気を行い、清潔な状態を維持している。	・引き続き、感染対策を行い、清潔な状態を維持していく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	13	0	・空間を仕切って使用する事ができる。	・現状を維持していく。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	13	0	・朝夕にミーティングを行い、目標の設定や進捗の確認、共有をスタッフ全員で行っている。	・引き続き、ミーティングなどで職員間の情報共有を行っていく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	0	・全職員で話をし、日々の支援に繋げている。 ・共有を行っている。	・会話だけでなく記録としてもしっかりとっていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	0	・ミーティング以外にも個別で話をする機会を設けるなどしている。	・引き続き機会を設けていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10	3	・他事業所の職員の方と情報共有を行い、業務の分担を行い、一人に業務が集中しないよう分担を行っている。	・引き続き行っていく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	13	0	・対面や、ZOOMを用いたオンライン等の方法を用いて講師を招いて研修を行っている。	・研修の内容をふまえ、普段の業務に反映していく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	13	0	・職員間で検討し合いながらプログラムを作成・公表をしている。	・引き続き行っていく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	13	0	・定期的な面談や来所時等に話をしており、本児と保護者の意向を聞きながら作成を行っている。	・保護者のニーズや子どもの状況などを日々の支援の中で確認をしながら計画作成を行っている。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13	0	・児童発達管理責任者が個別支援計画書の原案を作成し、職員間で会議を設け、そのなかで出た意見を集約して本案を作成している。	・引き続き目標に沿って方向性を定めていく。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13	0	・個別支援計画に沿って行うとともに、状況に応じて都度必要な支援を取り入れている。	・事業所内での会議にて、ニーズや課題の掘り下げなど随時行っていく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	13	0	・１日の終わりにその日の利用者の様子を話し合い、今後の支援について統一化を図っている。日々のケース記録を基にモニタリングを行っている。	・引き続き確認を行っていく。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13	0	・それぞれの項目に沿って計画を立て行っている。	・引き続き行っていく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13	0	・職員間で担当を割り振り、内容の共有を行いながら検討し、プログラムの立案を行っている	・引き続き、様々な活動の立案を事業所全体で行っていく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13	0	・個々のレベルに応じた内容や、スモールステップで少しずつ活動の難易度を話し合い、固定化しないよう工夫をしている。	・職員間で意見交換を行いながら、様々な活動を行っていけるよう引き続き工夫し、取り組んでいく。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	13	0	・日々の過ごしの中で振り返りや共有を行い作成、支援を行っている。	・どちらも取り入れ、組み合わせて作成・支援を行っている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	13	0	・出勤後、当日の取り組み担当のスタッフより共有を受けて、何を目的とした取り組みなのか一人一人が意識して利用者に関わっている	・今後も朝夕にミーティングを行い、情報共有を行う。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	13	0	・１日の終わりにその日の利用者の様子を話し合い、ケース記録に残している。	・今後も朝夕にミーティングを行い、情報共有を行う。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13	0	・ミーティングでの共有などを記録に記入し、検討したり改善を行っている。	・今後も記録を残していき、日々の支援に繋げていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13	0	・半年に一度行っている。その結果を保護者にお伝えしている。	・半年に一度の更新時期に関わらず必要に応じて情報収集して対応していく。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13	0	・全職員から利用者の近況を回収し資料を作成した上で、児童発達管理責任者が参画している。	・統一した支援に繋がるよう、関係機関とのケース会議等に積極的に参加し、率先して提案していく。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13	0	・協力医療機関を定め、重要事項として保護者への説明を行っている。	・引き続き医療連携を行い、異常に対して素早く気付き、相談できる体制を整えていく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13	0	・支援者会議を行い、情報共有を徹底している。また、保育園の先生からの療育の場を見学したいというニーズに答え、見学を受けいれている。	・必要に応じてこちらからも保育園や認定こども園、幼稚園に見学に伺い統一した支援が出来るよう連携していく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13	0	・支援者会議を行い、情報共有を徹底している。	・引き続き、情報共有を行っていく。率先して会議の提案などを行っていく。
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	13	0	・月に一度の外部研修に参加し、助言を頂いている。	・引き続き学びの機会を作り、助言をもとに取り組んでいく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	13	0	・送迎時や公園などの野外活動の際に、地域との交流がもてるようにしている。	・引き続き、様々な形で交流や関わりの機会を作っていく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13	0	・何かあれば都度相談できる対応を整えている。送迎時や面談時など、様々な場面で伝え合っている。	・引き続き相談できる関係性を作っていく。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	13	0	・ペアレントトレーニングとしての提供は現状ないが、保護者との会話を通して必要な支援・ニーズについての共有を行っている。	・今後、様々な形で会を行っていく。
保	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13	0	・契約時に丁寧な詳細の説明を行っている。	・引き続き、丁寧な説明を継続して行っていく。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	13	0	・面談時での話や意向をもとに作成をしている。	・引き続き作成をしていく。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	13	0	・契約の際に丁寧に説明をし、同意を得ている。	・引き続き分かりやすく説明を行っていく。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13	0	・面談・送迎時以外に必要に応じて電話にて話を聞き、助言や支援などを行っている。	・引き続き、相談をしやすい環境を整えていく。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	13	・個人情報保護の観点から現状行っていない。	・今後個人情報に留意しつつ実現可能な形を検討をしていく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13	0	・送迎場所や時間の変更など臨機応変に対応している。	・引き続き、対応をしていく。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	13	0	・スケジュールやホームページなどで発信をしている。	・引き続き口頭でも説明を行っていく。 ・ホームページの認知度を上げていく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13	0	・個人情報の持ち出しなどは行わず、事業所内の鍵付き書庫で保管している。	・引き続き、徹底した管理や取扱いを行う。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13	0	・分かりやすい内容で配慮をしている。 ・外国籍の方にはひらがなやローマ字で伝えるようにしている。	・引き続き配慮していく。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	13	0	・いつでも見に来て頂ける体制を整えている。・	・引き続き行っていく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13	0	・実施している。 ・マニュアルに準じて都度対応をさせて頂いている。	・引き続きどのスタッフも把握できるよう一緒に参加していく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13	0	・定期的に行い記録を作成し、職員間で共有している。	・引き続き行っていく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	13	0	・契約時のフェイスシートを用いて情報収集し、訪問看護師への報告を行っている。	・引き続き確認を行っていく。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13	0	・アレルギー表を頂き、保護者様とも都度確認を行っている。	・引き続き確認を行っていく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13	0	・定期的に行い記録を作成し、職員間で共有している。	・引き続き行っていく。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	13	0	・行っている。	・引き続き行っていく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13	0	・ヒヤリ事案が発生した場合、すぐに作成し共有や検討会を行い、再発防止に努めている。	・引き続き検討を行っていく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13	0	・研修を行っている。	・引き続き対応を行っていく。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	13	0	・該当児はいない。その際はしっかりと対応ができるように、研修や委員会などを開いて周知を行っている。	・該当児がいた場合の想定をしっかり立てていく。